

令和4年度 事業計画書

- 1 在宅復帰強化型 申請及び導入
 - ① 実績報告 3か月の実績（在宅復帰率50%以上・ポイント確保）
上記算定要件を整備し、申請・実施
職員訓練・FIMの自立度評価表の解釈と実践訓練
知識や研究心及び社会人としての接遇などの資質を有する職員に
対し研修・訓練を行う
- 2 処遇改善金の分配（職能給）
キャリアパスの明確的な分類（職能給基準作成及び実施）
 - ① スーパーバイザー
 - ② スーパーバイジー
 - ③ ケアワーカー
- 3 ホームページ更新
介護老人保健施設の事業所としての役割を具体的にアピール
効果的な職員募集等。文書表現から視覚表現
- 4 感染予防対策訓練
新型コロナウイルスクラスターに対し経験を生かした実質的な対策
フェーズ1~5の段階的感染対策の実施
- 5 年2回の防災訓練に福祉施設避難場所としての受け入れ訓練を追加
- 6 個人情報守秘義務・身体拘束禁止・虐待防止強化の研修・確認を実施
年1回
- 7 運転資金借入について
年間賞与資金として6,000万円を借入しているが、新型コロナ感染により
資金的なダメージを受け、持続可能な運営を図るため本年度は運転資金1,000万
円を上半期に借入を行い、賞与資金・運転資金を合わせて計7,000万円の借入を
行う
- 8 委託業者の契約更新
複数の見積もりと内容を精査し、業者の選定を行う
- 9 ベトナム人EPAの一時受け入れ中止（本年17名に達し定員のため）
- 10 高齢者の医療機関からの受け入れ
医療機関及び横浜市より新型コロナ感染の受け入れについて
感染された高齢者が発症してから10日以上経過後、上記機関より依頼があった
場合には感染の疑いが無いことを確認した上で受け入れをする。
ワクチン接種においても可能な限り対応していく